

アザメの瀬号外

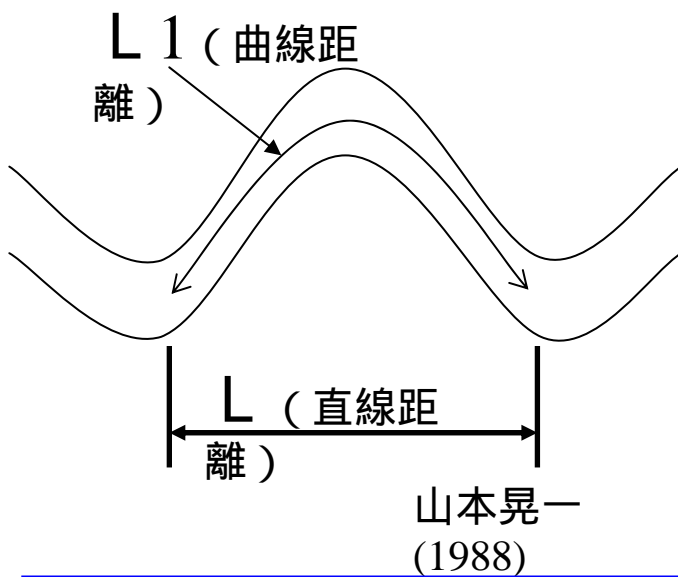
～ 原案の考え方～

H14.11.26

武雄工事事務所発行

アザメの瀬地区の地形勾配では、川はどのように蛇行するのか？

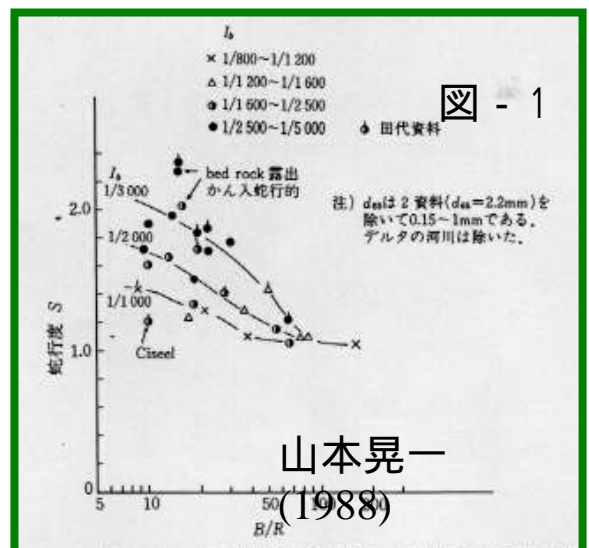
蛇行の強さは蛇行度で表す！



蛇行の形	蛇行度
	1/1=1.00
	1.04/1=1.04
	1.22/1=1.22
	1.42/1=1.42
	1.97/1=1.97

蛇行度は $\frac{L1 \text{ (曲線距離)}}{L \text{ (直線距離)}}$

自然の川は蛇行します。川幅、水深、勾配や川底の材料によって蛇行の形態は決まると言われています。蛇行の強さは蛇行度で示されます。

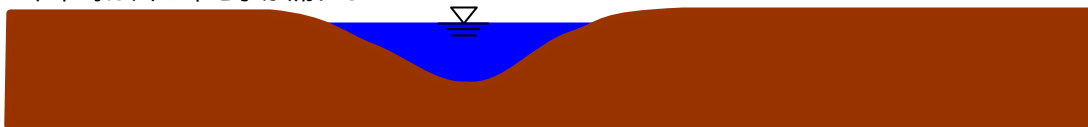


川に沿った延長と直線距離の比で表します。蛇行度1.0は真っ直ぐ、蛇行度2.0はかなり曲がっています。六角川で蛇行度1.7位です。

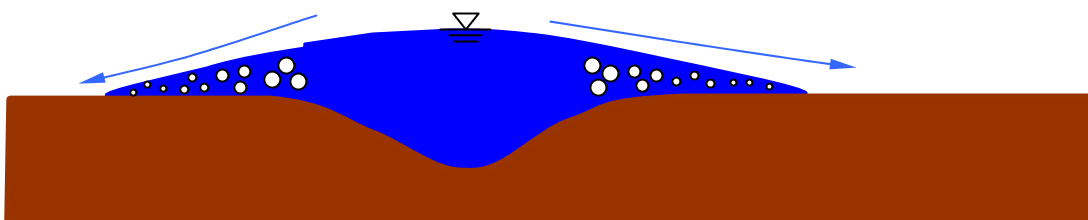
アザメの瀬地区に小さい川があった場合、川幅を5m、水深30cmとします。勾配が1/1700程度ですので図 - 1 から蛇行度は1.5位になります。

自然堤防と後背湿地はどうやって出来る？

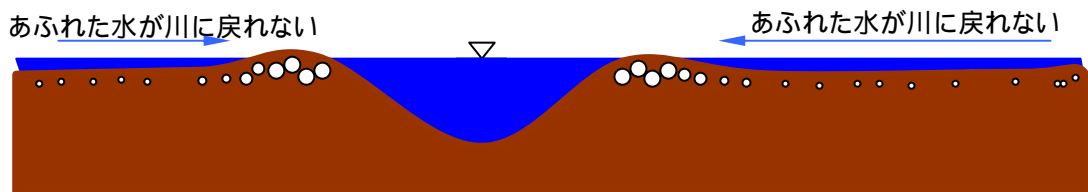
平常時は川の中を水が流れる



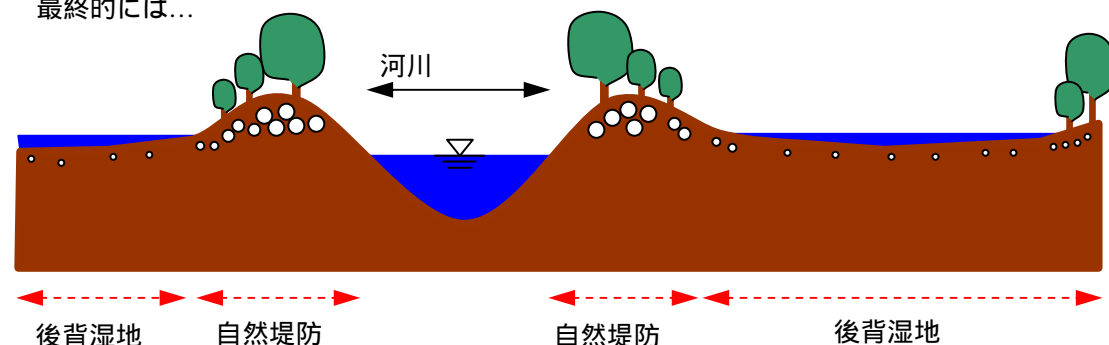
洪水時には濁流が上流から運ばれ、川からあふれ出る。あふれ出た濁流には多くの土砂が含まれており、土砂中の比較的大きな粒径の砂利などは河川近くに運ばれ、細かい粒径の砂や細かい粘土分は河川から離れたところに運ばれていく。



洪水が繰り返されることによって、だんだんと河川沿いに比較的大きな粒径の砂利等がたまり、『自然堤防』と呼ばれる小高い地形を築いていく。
『自然堤防』が築かれたことにより、洪水時に川からあふれた水が河川に戻ることができなくなり、湿地的な『後背湿地』とよばれる環境が形成される。



最終的には...



後背湿地に棲む生物たち

ドジョウ、ナマズ、ウナギ、テナガエビ、トンボの幼虫、ゲンゴロウ、ミズカマキリ、タイコウチ、などなど

大雨時には濁流を遡ってナマズやドジョウ、コイなどの産卵場となります。